

平成31年（2019年）2月7日

県内の高等学校3校と山形大学との教育連携協定の締結 ～山形東・米沢興譲館・東桜学館の各高等学校～

【本件のポイント】

- 双方のカリキュラム等を有機的につなげ、探究的な学びの推進と教育の活性化により、次代を担う生徒・学生の資質向上を図ることを目的
- 山形大学が高等学校と連携協定を締結するのは初めて
- 高校側は大学レベルの教育研究資源の提供を受けることができ、大学側は連携の成果を初年次教育等にフィードバックできる等双方にメリット



【概要】

山形大学（学長：小山清人）は、2月7日に山形県立山形東高等学校（校長：佐藤俊一）、山形県立米沢興譲館高等学校（校長：横戸隆）、山形県立東桜学館高等学校（校長：官宏）と教育連携に関する協定をそれぞれ締結しました。山形大学が県内の高等学校との協定締結は初めてのことです。

この協定締結は、高大接続を通して、互いのカリキュラム等を有機的につなげ、探究的な学びの推進と教育の活性化を図り、次代を担う生徒・学生の資質向上に資することを目的としたもので、高校側は大学レベルの教育研究資源の提供を受けることができ、大学側は連携の成果を初年次教育等にフィードバックできる等双方にメリットがあります。今後、各高校や山形大学各キャンパス・学部それぞれの特色に合わせ、具体的な事業内容を展開していきます。

【背景】

中高一貫教育や現行の学習指導要領の実施等により、高等学校の多様化と選択の幅の拡大が進展しています。山形県においては、平成28（2016）年に県内初の併設型中高一貫高校（東桜学館中学校・高等学校）を設立し、また平成30年には山形東高等学校、米沢興譲館高等学校など県立高校3校に探究科、3校に探究コースを設置しました。

山形大学においても、多様な人材を受入れるようAO入試・推薦入試の拡大化を図り、県や各高等学校と連携して、出張講義やスーパーサイエンスハイスクールへの協力、アカデミックキャンプなど、高大接続の取り組みを進めてきました。

そのような中で、探究科や中高一貫教育といった各高校独自の教育方針に、より柔軟により深く連携できるよう3校それぞれとの協定締結に至りました。

【今後の展望】

高校側は大学レベルの教育研究資源の提供を受けることができ、大学側は、連携の成果を初年次教育等にフィードバックできる等双方にメリットがあります。これまで、個別に、単発で行っていた交流が、今後は、全体のカリキュラムに基づいた有機的な連携になるよう、各高校や山形大学各キャンパス・学部それぞれの特色に合わせ、具体的な事業内容を展開していきます。

お問い合わせ

エンrollment・マネジメント部 E M企画課

TEL 023-628-4062 メール enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【連携事業】

■山形東高等学校

- ・高校の生徒を対象とした特別講座等の開設
- ・高校からの要望による大学教員の出張講義、大学施設・設備の使用
- ・教育についての情報交換及び交流
- ・その他、双方が協議し、同意した事項

■米沢興譲館高等学校

- ・大学による講義への高校生の受け入れ
- ・高校における探究的な学びの指導に対する支援
- ・大学における学生教育への連携・支援
- ・大学教員の出張講義、大学施設・設備の使用
- ・教育についての情報交換及び交流
- ・その他、双方が協議し、同意した事項

■東桜学館高等学校

- ・高校における探究型学習の指導に対する支援
- ・大学教員の出張講義、大学施設・設備の使用
- ・高校の生徒を対象とした特別講座等の開設
- ・教育についての情報交換及び交流
- ・その他、双方が協議し、同意した事項